

# 農業経営を担う人材の確保と定着

## ～当別町農業総合支援センターとの連携活動～

活動年次：令和4年

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

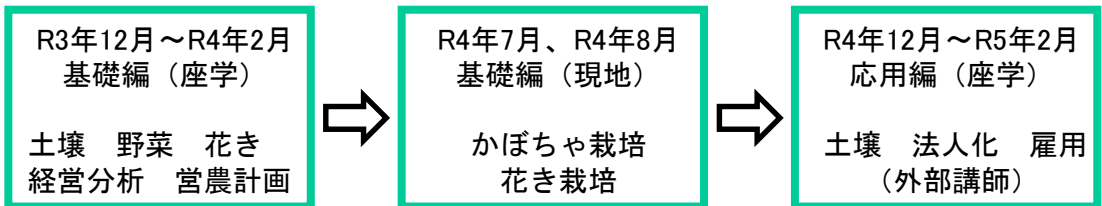
### 1 課題設定の背景 \*\*\*\*\*

- ① 令和元年に当別町農業総合支援センター（以降：支援センター）が設置され、農業の新たな担い手確保と育成を強化する体制が整えられた。
- ② 人材確保と同時に定着を図るため、後継者や新規就農者などを対象とした技術および経営を学ぶ機会が求められた。

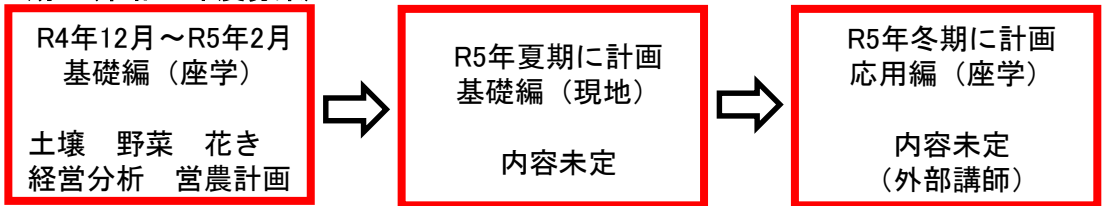
### 2 活動の経過 \*\*\*\*\*

- ① 支援センターが企画・受講者募集、普及センターが企画補佐・講師（基礎編）を勤める役割分担をし、活動を開始した。
- ② 令和3年冬に1期生を募集。1年目基礎編（座学、現地）、2年目応用編を開講。
- ③ 令和4年冬に2期生を募集。1年目基礎編（座学、現地予定）を開講。
- ④ 夏期現地研修は、栽培品目や冬期基礎編（座学）での意向を加味して企画した。

#### 1期生(令和3年度募集)



#### 2期生(令和4年度募集)



**土づくり基礎編**  
～実際に土を触ることが大切～



**経営基礎編**  
～いくら稼ぎたいか？から考える～

### 3 成果の具体的内容 \*\*\*\*\*

- ① 令和3年度募集（基礎編）は、座学：9戸（12名）、現地かぼちゃ：5戸（6名）、現地花き：5戸（5名）が出席。  
受講者からは「現地研修会は物を見ながら話ができるので理解しやすい」との声があがり、情報交換は盛り上がった。  
ベテラン生産者からは「高収益な花き栽培にチャレンジして欲しい」と担い手に対する期待が話された。  
生産者同士のつながりができる良い機会となった。



かぼちゃ基礎編  
～受講者が自らの栽培を紹介～



花き基礎編  
～ベテラン生産者に栽培を聞く～

- ② 令和3年度募集（応用編）は、座学：10戸（11名）が出席。  
応用編の開講を案内したところ、追加の受講希望者がおり、座学受講戸数が基礎編より増加した。
- ③ 令和4年度募集（基礎編）は、座学：11戸（11名）が出席。  
リモート配信も行い、天候不良や移動時間省略に対応させたこともあり、参加戸数が1期よりも増加した。基礎を学びたい後継者などのニーズが現れたと考えられる。



経営応用編  
～法人化、経営継承を学ぶ～



土づくり基礎編  
～前年同様、基礎からしっかり～

### 4 今後の活動 \*\*\*\*\*

- ① 応用編の現地研修を開催し、座学で得た知識の実践・定着を図る。
- ② 基礎編で得た知識を実践し、既作付品目の充実、新規作付品目へつながる取り組みを支援する。